

第30回防衛セミナー実施概要

防衛装備品の研究開発 ～浜松でやらまいか～



平成29年3月16日(木)静岡県浜松市の静岡新聞ホール(プレスタワー17F)において、「防衛装備品の研究開発」をテーマに、渡辺 秀明 防衛装備庁長官をお招きし「第30回防衛セミナー」を開催いたしました。

浜松市での開催は、平成26年10月以降2年ぶり4回目の開催となり、本セミナー開催に関し、浜松商工会議所、(公財)浜松地域イノベーション推進機構及び浜松市より後援いただきました。



講師

渡辺 秀明 防衛装備庁長官

渡辺長官からは、『技術的優越の確保と優れた防衛装備品の創製を目指して ～防衛技術戦略～』と題した講演をいただき、その中で「防衛装備品等の研究開発」について、

- ①新たな脅威に対し、戦略的に重要な分野において技術的優越を確保し得るよう、中長期的な視点に基づく研究開発を推進するための各種施策を実施していること、
- ②科学の発展を背景に、民生技術と防衛技術のボーダレス化が進展しており、90年代以降安全保障分野における技術の進歩は、民生技術の発展にも拠るところが大きいこと、などについてのお話がありました。

また、「防衛技術戦略」について、我が国の防衛力の基盤となる技術力を強化するための防衛省の技術政策の目標や、技術のボーダレス化・デュアルユース化の進展及び国際共同研究開発の拡大等の技術政策上考慮すべき課題などのほか、主として防衛装備品に用いられる要素技術の民生技術への活用(スピノフ)の例として、航空機用チタンボルトなどのチタンボルト成形加工技術の医療用チタンボルトへの応用などについて、お話がありました。



主催者

堀地 徹 南関東防衛局長

渡辺長官の講演に引き続き、堀地南関東防衛局長より、「防衛装備品を巡る最近の動向 ～地域から世界へ・グローバル化～」と題して、国際防衛装備品展示会の状況や、中小企業等発掘促進の施策、諸外国との防衛装備品・技術移転協定の状況などについてお話をしました。

南関東防衛局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動など、わが国の安心・安全、国民の財産を守るという意識をより多くの方々に理解していただけるよう、今後も防衛セミナーを開催していく予定です。